



瑞穂町栗原地区 区画整理だより

Vol.14

令和2年7月発行 瑞穂町栗原土地区画整理組合設立準備会 会長 町田 敏雄

酷暑の折、皆様ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。当設立準備会に対しましては、日頃よりご理解とご協力を頂き、ありがとうございます。

区画整理だより第13号発行以降、当設立準備会では昨年度おこなった課題整理を基に、事業化に向けて瑞穂町及び東京都を始めとした関係機関との調整を進めて参りました。

今後とも引き続き、皆様のご協力をお願い申し上げます。

土地区画整理組合設立準備会 第2回総会を開催します

当準備会は平成18年6月24日に発足し、長年にわたり栗原地区において新駅を中心とする住宅ゾーンとして、「生活サービス交流拠点」の実現に向けて努力してまいりました。

しかしながら、今日の社会情勢を鑑みた場合、第一に土地区画整理事業の成立性のポイントとなるJR八高線新駅設置が暗礁に乗り、見通しが立たないこと、第二に瑞穂町の人口動態が緩やかに減少していること等、住宅系主体の土地利用の難しさがはっきりしてきました。

一方、圏央道青梅ICを取り巻く周辺地区において、当地区と立地状況が類似する、青梅市今井地区において物流系の土地区画整理事業の具体化について新聞発表されている状況にあります。

こうした栗原地区を取り巻く環境の大きな変化は街づくりの方針転換を促していると判断いたしました。そこで当準備会としましてはこのような状況を踏まえて、平成30年11月27日に準備会役員ならびに推進委員による合同委員会を開催し、今後は「新駅を前提とした住宅系主体の街づくり」ではなく「住宅系を一部含む産業系の街づくり」を目指すことを決議いたしました。

つきましては、住宅系から産業系主体への土地利用転換を、地権者の皆様にお諮りしたく、総会を開催させていただき運びとなりました。

しかしながら、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、他地区の多くの土地
区画整理組合や準備会の事例では、安全に配慮して書面による議決と役員への
委任によって総会を成立させている状況です。当準備会におきましても、この
例にならった方法での総会開催を検討しております。

この「準備組合だより第14号」にて、第2回総会の議事の内容を事前にお
知らせし、皆様にご理解をいただいたうえで、第2回総会を開催したいと考
えております。

その節には、改めて開催日時、会場、開催方法などについて記した「開催の
ご案内」を送付させていただきますので宜しくお願いいたします。

平成31年度 委託契約（報告）

- 準備会事務委託（その14）・・・・・・・・大和測量株式会社
準備会運営及び諸会議等の運営を行いました。

準備会活動報告

- 準備会役員会
第61回 令和2年 3月24日（火）開催
- 役員会・推進委員会合同会議
第32回 令和元年 9月19日（木）開催
第33回 令和元年11月20日（水）開催

令和元年度は土地利用のあり方の研究、関係機関との調整を進め、平成30
年度に準備会で決議した土地利用方針の転換を地権者の皆様にお諮りするた
め、総会開催に向けての合同会議を行いました。

問 い 合 わ せ 先

瑞穂町 都市整備部 都市計画課 区画整理係 電話：042-557-7663

区画整理だよりのバックナンバーは瑞穂町のホームページでご覧頂けます。

<http://www.town.mizuho.tokyo.jp>